

和歌山県警察学校移転整備の手法について

1 趣旨

和歌山市加太地内に予定している和歌山県警察学校の移転整備については、PFI導入可能性調査の結果を踏まえ検討した結果、従来型手法で進める。

2 PFI導入可能性調査の結果

(1) 支出削減効果

VFM（財政支出削減率）は発現しなかった。

(2) 民間事業者の反応

事業に対する民間事業者の関心は高いものの、PFI事業として実施するには、事業規模等の点で慎重な意見が出ている。

事業方式・範囲	PFI・BTO方式（サービス購入型） 施設整備・維持管理・運営・解体・移転支援業務
事業期間	18年（設計・建設：3年、維持管理・運営：15年）
支出削減効果	なし（－12.55％）

PFI手法：民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う手法

従来型手法：公共施設等の整備に、民間資金等を活用せず、仕様を定めて整備する手法

3 従来型手法の選定理由

PFI導入可能性調査の結果、VFMは発現しなかったため。

また、昨今の物価変動や金利変動の影響から今後も発現する可能性が低いため。

4 今後のスケジュール

早期の移転整備に向けて国に対し造成状況等を説明するとともに、予算獲得に努める。